現況図・基準照合票

水糸測図室　／　現況図の納品版確定

確定した受付内容

図面に残す箇所	荷捌き場の通路幅
依頼元の支給図	支給図 第3版
出力する縮尺	1:200
支給図が指定する基準	床の基準鋲 P2

担当が使う数字・条件

照合に使う実寸（見本）	3.2m
図面上の長さ	3200mm ÷ 200 ＝ 16mm
作図のよりどころ	支給図 第3版／床の基準鋲 P2

確認と変更の記録

支給図に版番号がありません。製図を始める前に、どの版を使うか依頼元と照合します。

依頼元の支給図	版番号未記入 → 支給図 第3版

作業と引継ぎ

担当	現況測定担当
作業予定	現地に入る前に支給図を照合
現場で見つけた基準の表示	現場の印が支給図と一致しない
依頼元に渡す図面	基準注記を修正・現況図 R2
再開までにしたこと	依頼元と正しい印を特定し、下図の基準注記を修正
依頼元の支給版	支給図 第3版
基準の照合	床の基準鋲 P2・依頼元と再照合
納品する現況図の版	R2・R1は旧版
縮尺と図面寸法	1:200／16mm
確認済み	依頼元が指定した基準と現場の印を照合する／縮尺と図面寸法を確かめる／支給図の版と納品図の版をそれぞれ記録する

受け取る人と使い方

現況測定担当から製図担当・施設窓口へ
依頼元は床の印や柱の位置と図面の基準を照合し、今回返却された版を次の計画資料として共有できます。

自社で使うなら

使用する基準の表示、支給図の管理者、現場で不一致を見つけた際の照会先と納品図の版の付け方を決めます。

変えたい項目・確認する人